



2021年8月5日

各位

会社名 ダイナパック株式会社
 代表者名 代表取締役社長 杉山喜久雄
 (コード: 3947 東証・名証第2部)
 問合せ先 取締役常務執行役員 篠岡 尚久
 管理本部長
 (電話番号 052-971-2651)

業績予想の修正に関するお知らせ

2021年2月5日に公表しました2021年12月期(2021年1月1日～2021年12月31日)の業績予想を下記のとおり修正しますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2021年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正
(2021年1月1日～2021年6月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する四半 期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	26,000	200	450	350	35円36銭
今回修正予想(B)	27,210	530	1,040	760	76円69銭
増減額(B-A)	1,210	330	590	410	—
増減率(%)	4.7	165.0	131.1	117.1	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年12月期第2四半期)	24,963	50	251	120	12円18銭

2021年12月期通期連結業績予想数値の修正
(2021年1月1日～2021年12月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する当期 純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	54,000	900	1,200	900	90円92銭
今回修正予想(B)	55,000	1,200	1,700	1,200	121円09銭
増減額(B-A)	1,000	300	500	300	—
増減率(%)	1.9	33.3	41.7	33.3	—
(ご参考)前期実績 (2020年12月期)	52,277	725	1,064	933	94円35銭

修正の理由

(2021年12月期第2四半期累計期間および通期の連結業績予想)

売上高につきましては、年初より国内外において移動制限措置および緊急事態宣言の発出等があり、これら新型コロナウイルス感染拡大の影響が販売額にも影響を及ぼすものと想定しておりましたが、事業への影響が軽微であったことに加え、昨年新型コロナウイルス感染拡大で落ち込んだ販売額が、国内を中心に想定よりも早期に回復基調に転じたことを受けたものであります。ただし、下期については足元で新型コロナウイルスの感染が国内外で再拡大しており、影響を及ぼすことも想定されます。

営業利益につきましては、売上高の増加影響に加え、新型コロナウイルス感染拡大を受けた製造コストの見直しおよび営業費用の圧縮などが収益に寄与したことによるものであります。

経常利益につきましては営業利益の増加影響に加え、外貨建て資産の評価にともなう為替差益の計上などによるものであります。

親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益につきましては、経常利益の増加影響を受けた一方で、子会社株式の売却にともなう損失の計上および収益増加にともなう法人税等の負担増加によるものであります。

ご注意：本資料に記載しております業績に関する予想数値は、いずれも本資料の発表日現在において入手可能な情報による判断および仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合があります。

以上